

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒130 東京都新宿区  
愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者  
渡辺孝一

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 国際協力の推進を! —台湾訪問と国際フォーラム開催—

全国協議会では今年度の活動方針として、国際協力の推進を大きく掲げていきます。その一環として、八月十八日に国際フォーラム「骨髄バンクのネットワーク化」を開催しました。また、それに先立ち八月上旬には台湾に海部会長をはじめとする全国協議会代表団を派遣し、交流を深めました。

●国際フォーラム  
会場の国際展示場会議棟六階の会議場にはおよそ三百名が参加しました。刀根麻理子さんの総合司会により三時間以上にわたって熱心な報告と討論が行われました。

まず財団中央調整委員長の小寺良尚氏より「国際委員会からの報告」があり、続いて海外より招待した各国担当者から現状と国際協力の状況報告が行われました。米国からブルースカッセルトン氏、台湾から曾文賓氏、韓国から全用植氏、更に日本は



国際フォーラム会場にて (8月18日)



パネルディスカッション

幸道秀樹氏による報告でした。それぞれ各国ともシステム等にはお国柄による違いが明らかとなり、アメリカと台湾では積極的な国際協力が推進されており、日本の遅れが明らかとなりました。

後半は各国四名の講師と陽田運営委員長の座長によるパネルディスカッションとなりました。ドナー登録年齢は日本だけ二十才からですが、各国とも十七才からであるなど、日本だけが様々な点で違いのあることが指摘されました。

フォーラムはすべて四カ国語の同時通訳で進行しましたが、通訳はすべてボランティアの皆さんの協力により行われました。その他たくさんの方のボランティアによりこの国際フォーラムを成功させることができましたことを報告致します。



海部会長と証厳法師

●台湾訪問  
全国協議会では海部会長をはじめ陽田運営委員長など七名の代表団による台湾訪問を行いました。花蓮市において台湾骨髄バンクによる国際大会が八月三・四日に開催されました。まず、アメリカのハンセン博士による基調講演があり、台湾とアメリカ、シンガポール、オーストラリアの骨髄バンクによる協力提携調印式が行われました。また、移植を受けた患者さんと骨髄提供したドナーとの対面もあり、会場は大きな感動の渦につつまれました。

台湾骨髄バンクは仏教慈済会が運営する民間バンクですが、日本を上まわる大きな発展を見せています。慈済会のリーダーである尼僧証厳法師と海部会長は何回かの会談で、今後の日台協力の推進を誓い合いました。

【国際フォーラムと台湾訪問に  
関しましては、本紙増刊号「骨髄バンク」第三号(十二月発行)に詳しく掲載する予定です。】

hideもやったぞ!  
「言葉ではなく  
行動しただけ…」

hide (X・JAPAN)さんの全国二十カ所での秋のコンサートツアーは骨髄バンク推進チャリティーとして行われます。

この公演ツアーに先立ち、hideさんは八月十三日に日赤中央血液センター(東京広尾)でドナー登録をしました。

「言葉でうまく言えないから行動しました」と記者会見でhideさんは語りました。

全国協議会ではコンサートツアーの入場者約十万人のために「hideもやったぞ! 骨髄バンクに登録しよう」と題した登録時の写真が入ったチラシを

hide (X・JAPAN)さんの全国二十カ所での秋のコンサートツアーは骨髄バンク推進チャリティーとして行われます。

この公演ツアーに先立ち、hideさんは八月十三日に日赤中央血液センター(東京広尾)でドナー登録をしました。

「言葉でうまく言えないから行動しました」と記者会見でhideさんは語りました。

全国協議会ではコンサートツアーの入場者約十万人のために「hideもやったぞ! 骨髄バンクに登録しよう」と題した登録時の写真が入ったチラシを

白血病フリーダイヤル  
バンクに トウロク  
0120-892-106  
毎週土曜日10時~16時



ドナー登録を終え記者会見するhideと海部会長

第2回  
代表者会議報告

国際フォーラムを翌日にひかえた八月十七日、今年度二回目の代表者会議が東京永田町で開催されました。フォーラムにお招きした方々を迎える会がこの後予定されていたため、短い時間ではありましたが、様々な意見が出されました。

●台湾骨髄バンク訪問  
八月三・四日の台湾のバンクの大会へ海部会長以下五名が参加し、台湾のドナー登録について取材し、陽田委員長をはじめ五人が登録してきました。

●財団事務局との関係について  
イベント等の開催をできる限り財団との共催や実行委員会方式にして、お互いの意思疎通をはかっていくことになりました。

●移植千例突破記念キャンペーンについて  
マスコミからみて魅力のある企画とし、登録増につながる様、財団を含めた実行委員会形式にして内容を検討することになりました。

●ドナーの会設立について承認

●骨髄移植医療体制の拡充を求めるシンポ

(九月七日 名古屋開催)  
の取り組み状況について

骨髄バンクの最新情報をお知らせする — 骨髄バンクNOW

★7月の電話問合せ件数が大幅増加  
「故平田浩三さんとご家族の骨髄移植への取り組み」番組が、TBS・MBSテレビ系列で放映され当翌日のフリーダイヤル受信数が4000件を超えました。また、今年度の公共広告機構(AC)キャンペーンが6月末から全国で開始されたことに伴い、7月は1年ぶりに5000件を超える問合せ件数となりました。今後のドナー登録者数の増加が期待されます。

★毎日新聞の「小児ガンの子供を救え」キャンペーンについて  
7月20日に骨髄バンクが特集掲載され8月20日以降にも4~5回の連携記事が掲載されています。9月14日に埼玉県川越市において毎日新聞主催のチャリティー公演会が開催されます。

検査済みドナー登録者	74,066名
患者登録者	4,286名
移植件数	832例

(7月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★  
フリーダイヤル0120-377-465

〜大谷副会長の動き〜

月日	開催地	依頼元
7月28日	神奈川県横浜市	日本青年会議所サマーコンファレンス「TOYPセミナー」
30日	愛知県名古屋市	名東ロータリークラブ
31日	日本創造教育研究所	田舞学校テープ録音
8月1日	東京都中央区	東京秋葉原ライオンズクラブ
3日	奈良県奈良市	全電通奈良県支部
4日	福井県福井市	福井骨髄バンクサポーターの会
12日	福井県福岡市	九州骨髄バンク推進連絡会議
20日	栃木県佐野市	チャリティーゴルフ 佐野青年会議所例会
24日	愛知県大府市	日本福祉大学同窓会知多支部
25日	愛知県名古屋市	名古屋青年会議所
31日	福島県福島市	福島県骨髄バンク推進連絡協議会

フジテレビを  
見て見ぬふりは  
やめよう

フジテレビ

# 涙と感動の105分 ＝「金色のクジラ」試写会＝

全国協議会主催の映画「金色のクジラ」試写会が、八月二六日、東京・北の丸の科学技術館で開かれました。

会場には、全国協議会が招待した国会議員、東京近隣の自治体議員、厚生省・財団・ライオンズなどの招待者のほか、一般参加者を含め約三百人が観賞しました。

上映に先立ち、海部会長のあいさつにつづいて、映画スタッフ・キャストの紹介とあいさつがありました。

大沢監督は「浜松市の皆さん、骨髄バンク関係者の皆さんの熱い思いと協力によって完成した作品。大きな感動を味わっていただき、たくさんの人に観賞の輪を広げてほしい」とあいさつ。つづいて、看護婦役の八木小織さん、患者役のお母さん役の余貴美子

さん、努役の鈴木淳之助君、裕一役の青島愛海君、健二役の青島学海君、脚本の山本洋子さんがそれぞれ作品への思いを語って、あいさつされました。

一〇五分間の映画は、リアルで感動的で、アツというまのひと時でした。



映画「金色のクジラ」特別試写会  
主催/全国骨髄バンク推進連絡協議会 共催/映画「金色のクジラ」製作委員会  
主役/青島学海君 青島愛海君 鈴木淳之助君 八木小織君 余貴美子君  
脚本/山本洋子君 監督/大沢昭彦君

## 各地の たより

### 釧路 市内十カ所で 一斉キャンペーン

去る七月七日(日)、釧路市内の繁華街十カ所で同時に「ドナー登録」を呼びかける「市内一斉キャンペーン」を行いました。「ボランティアの会」のメンバーに加えて、ライオンズクラブ、ソロボチミスト、青年会議所、赤十字奉仕団、連合町内会、女性団体協議会等の主要な

### 各地のたよりを 写真を添えて お寄せください。

団体の他、市内の高校二校も校長先生を先頭に街頭に出て下さり、総勢二百名での一斉キャンペーンになりました。用意していた二万枚のチラシも一時間半位で全てなくなり、その場で登録ハガキを書いてくださった方も二十名程いました。



赤いノボリが目目をひきます

また、その後二週間程は登録やボランティア参加希望の問い合わせが数多くあり、対応に追われました。

一斉キャンペーンを行い、市民の中には、ちょっとしたきっかけを待っている人達たちも



マサコは今髪が抜けているのだった...

きしむベン! したたる汗!  
毎月頑張る  
作者のマサコマサオさんにはげましのお便りを出そう!  
宛先は、  
全国協議会ニュース  
事務局まで

## 心からのご寄付を ありがとうございました

7月21日～8月20日まで

山田生	現金	8,000
山岸朝子	切手	2,339
稲次康三	現金	2,000
山崎久江	現金	5,000
秋葉原ライオンズクラブ	現金	300,000
浅海昇	現金	1,408
阿原一良	現金	10,000
ヨウタタカコ	現金	10,000
幸道秀樹	現金	30,000
張毓芷	現金	10,000
毛塚翠	現金	10,000
田島香雪	現金	10,000
和田せつ子	現金	30,000
東松苑ゴルフ倶楽部	現金	350,000
佐野青年会議所骨髄バンク運動推進部会	現金	150,000
ホテル霞友会館	現金	1,796
◆佐藤さち子患者支援基金		
浅野博子	現金	2,000
小島仁味古	現金	3,000
矢野義江	現金	100,000
若木換	現金	5,000
陽田秀夫	現金	5,000
◆あやちゃん基金		
若木換	現金	5,000
陽田秀夫	現金	5,000
八木一夫	現金	3,000

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 566655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会



映画「金色のクジラ」の子役を迎えて



チャリティ歌謡フェスティバル



山形「あやちゃんの贈り物展」

山形県が四市町で「あやちゃんの贈り物展」を開催しました。山形支部が担当した山形市、村山市、川西町には、千五百人以上の方がおいでくださいました。あやちゃんの絵をごらんになった方のほとんどが感動し、タッチの確かさに感心したと、アンケート



思いをこめて鶴を折る少女達

「まものメッセージに導かれて」と題し拙い話をいたしました。三瓶さんも私も、そして参加くださった方達も、涙ながらの二時間でした。

### シンポジウム 「骨髄移植医療体制の拡充」

- 骨髄バンクの現状と造血幹細胞移植の展望
- 患者家族長期滞在支援制度と患者家族ケアの向上
- ドナー登録拡充への今後の取り組み

日時・平成8年9月7日(土)  
午後2時から午後4時半  
会場・愛知県ボランティアセンター  
(愛知県社会福祉会館内)  
出席・小寺良尚(名古屋第一赤病院)  
高綱忠司(愛知の会)  
森下剛久(厚生連昭和病院)  
骨髄移植センター看護婦  
骨髄移植経験患者・家族  
愛知県衛生部業務課担当者

「金色のクジラ」を作る山形の準備が全てにわたる全面的協力があつたればこそです。現在、あやちゃん展効果(?)がはじめています。骨髄バンクを授業に取り上げている中学校の要望、なにか手伝いがしたい、

くさんいるということを感じました。(続木)

八月十一日の静岡市での「明日がいつばい集まったなら」のイベントでは、映画「金色のクジラ」を題材に、子供達にわかり易くをテーマに、主演の子供達をゲストに招いて撮影の苦労話、裏話を披露してもらいました。

また、ピエロのパントマイムの後、岸川悦子先生の幼いころの話や「金色のクジラ」にまつわる話には、先生の熱い思いが伝わってきました。



まものメッセージのコーナー

その後昨年八月に東京で、今年二月には大阪で「骨髄移植医療体制の理想を求めて」と題するシンポジウムを開催しました。

### 骨髄移植医療体制の拡充を求めて

第3弾シンポジウムを名古屋で開催